



医師、看護師そして専門スタッフが全国の日赤・医療機関から派遣され結集。病院は3名の看護師を派遣。食料・生活必需品をバックした大きな重い荷物を抱え、自己完結型で集合。一元的に連絡・調整が行われ石巻圏の避難所の医療救護、石巻日赤の医療支援に就く(石巻圏合同救護チーム本部、石巻日赤内)



廊下の固い床の上でつかの間の仮眠

写真特集

石巻赤十字病院 看護支援

写真提供

北見赤十字病院
看護部 副部長
佐々木敦美さん



被災に遭われた多くの方が来院。さらに救急の患者さんがひんぱんに搬送されて来ます。病院の玄関ロビーにブルーシートを広げ、毛布を敷き、そこで診察を待ち診療を受けています。待合ホールは緊急のベットサイドになり、診療・治療がエンドレスでつづきます(石巻赤十字病院、3月17日)